

# 平成29年度 高冷地水稻生育速報 (第4報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況 (7月13日調査)

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	73.5 (105%)	519 (98%)	2.9 (-1.0)	31.1 (-5.3)	11.1 (-0.5)
	前年	73.8	584	3.9	32.9	11.7
	平年	70.0	528	3.9	36.4	11.6
ひとめぼれ	本年	65.4 (102%)	583 (108%)	2.9 (-1.1)	31.6 (-4.9)	10.1 (-1.5)
	前年	67.8	654	3.7	32.0	11.6
	平年	64.0	538	4.0	36.5	11.6
たかやまもち	本年	67.5 (102%)	414 (91%)	3.2 (-2.1)	33.9 (-6.6)	10.8 (-1.4)
	前年	71.1	504	5.3	40.1	12.1
	平年	66.3	456	4.9	40.5	12.2
ひだほまれ	本年	70.2 (102%)	352 (93%)	2.6 (-1.4)	31.2 (-4.7)	11.6 (-0.6)
	前年	73.5	420	3.4	31.8	12.3
	平年	69.1	379	4.0	35.9	12.2

栽培条件：移植5月17日 栽植密度22.2株/m<sup>2</sup> 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値：過去5年間(H24年～H28年)の平均値  
( )内の数値は対平年値

## 2. 生育状況と当面の管理

### 1) 気象概況

7月上旬の気温は平年より高く、日照時間は多かった。

### 2) 生育概況

草丈はすべての品種で平年並み、茎数は平年並み～やや少なめである。

葉色値、SPAD値はすべての品種で低くなっている。

葉齢の進展は平年より遅くなっているが、幼穂の分化は「あきたこまち」、「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」は平年並みである。

「ひだほまれ」、「たかやまもち」の幼穂の分化はやや遅れており、出穂期は平年より2～3日程度遅くなると予想される。

### 3) 病虫害等の発生状況

葉いもち、紋枯れ病が見られる品種があるが、発生はわずかである。

### 4) 今後の管理

葉色の低下が進んでいる。穂肥は、早めに幼穂長を確認し、穂肥施用時期を逃さないようにする。

半旬別気象図（高山市アメダス）

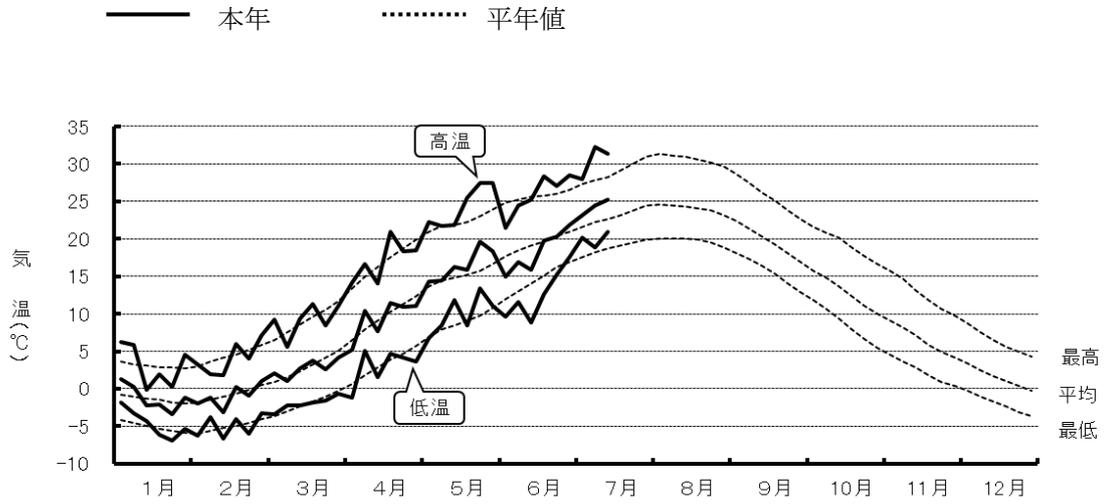


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

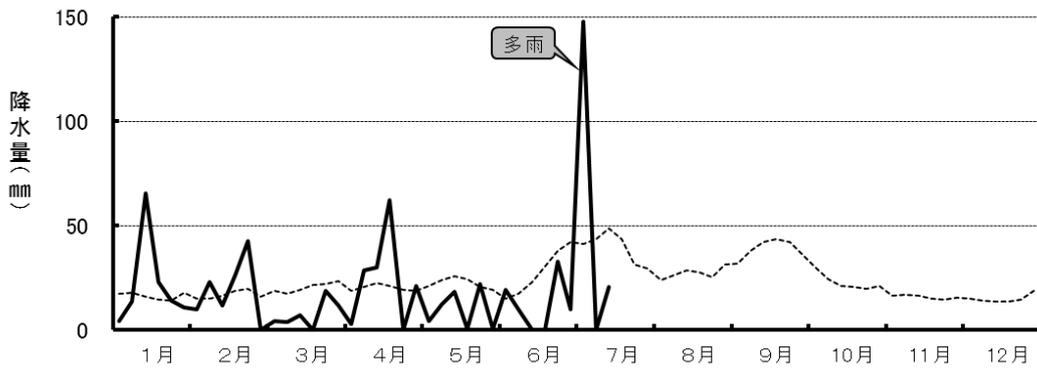


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

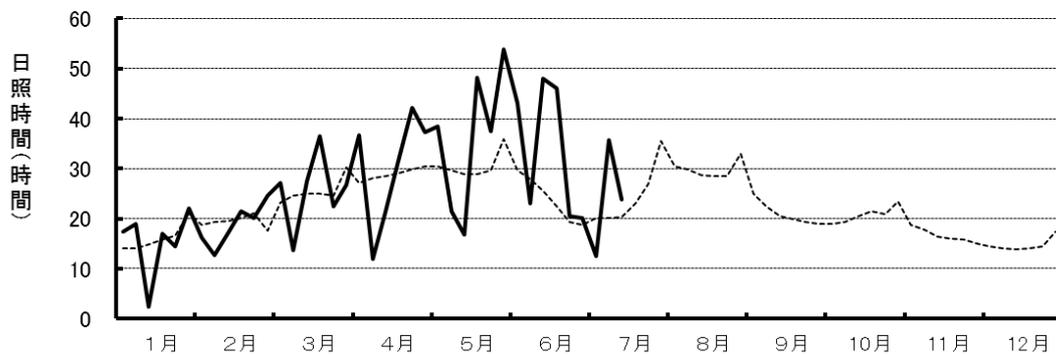


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)